

たのしいこといっぱい。としよかんへいこう!

2018

東近江市立図書館

八日市 (0748-24-1515)
永源寺 (0748-27-8050)
五個荘 (0748-48-2030)
愛 東 (0749-46-2266)
湖 東 (0749-45-2300)
能登川 (0748-42-7007)
蒲 生 (0748-55-5701)

なつやすみ★おすすめ本
夏によむよむ



『しりとりボクシング』

あらい 新井けいこ/作 (小峰書店)

学校でしりとり大会が行われる。恭平は優勝めざして、友だちの健太としりとりの練習だ。辞書をあ行から読み始め、【る】から始まる言葉の対策を考えて。ルーペ、ルーマニア、ルリクワガタ、ルリシジミ……。



『口ひげが世界をすくう?!』

せかい ザラ・ミヒャエラ・オルロフスキー/作 (岩波書店)

だいすきなおばあちゃんが亡くなってから、おじいちゃんはずっと元気がない。でもある日突然、世界ひげ大会に出ると言い出します。ヨーヨーはおじいちゃんとふたりで、ひげの世界チャンピオンをめざすことに!



『メリーメリーおとまりにでかける』

ジョージ・G・ロビンソン/作 (岩波書店)

メリーメリーは、5人きょうだいのすえっ子。おねえちゃん、おにいちゃんたちがお友だちとお出かけするのが、うらやましくてたまりません。庭のへいから、おとなりをながめしていると……。★メリーメリーのおはなしは全部で3冊あります。

さあ、夏休み!
図書館からのおすすめの本を
しょうかいするよ。
たくさん読んでみてね!



『イードのおくりもの』

ファウズィア・ギラニ・ウィリアムズ/文 プロイティ・ロイ/絵 (光村教育図書)

「イード」はイスラム教のおまつり。お父さんが家族にたくさんのおくりものをします。お父さんも新しいズボンを買いました。すそを少し短くしようと思ったのですが、みんないそがしくて……。



『ゆうかんな女の子ラモーナ』

ベバリイ・クリアリー/作 (学研)

ラモーナは、大きな男の子にだって負けないゆうかんな女の子です。やんちゃでちょっぴり元気がよすぎるラモーナのまわりはいつもにぎやか。はりきって出かけた小学校でも、ちょっとしたさわぎをおこしてしまいます。

★ラモーナのおはなしは全部で8冊あります。



『ケータイくんとフジワラさん』

いちかわのぶこ 市川宣子/作 (小学館)

古いガラケーのケータイくんを買ってくれたのは、おじいさんのフジワラさん。手先が器用なフジワラさんが修理屋さんをはじめてから、ケータイくんは大いそがし。ほら、また鳴りだした!





3・4年生



『名犬ポニーはマルチーズ ①ポニーがうちにやってきた』
ベル・ムーニー/作 (徳間書店)

ハリーは、ずっと犬をかいだと思っていました。想像していたのは、大きくて世界一かしこい犬。なのに、お母さんがつれてきたのは、ネズミみたいにちっぽけな犬！がっかりしたハリーでしたが……。

★名犬ポニーのおはなしは全部で4冊あります。



『しろくまだって』 斉藤洋/作 (小峰書店)

「しろくまじろしの宅配便」の二人組、マルクとカールは、まちで大人気。みんなは「しろくまのきぐるみを着ている人間だ」と思っているけれど、ほんとはほんとにしろくまなんです。

★しろくまのおはなしは全部で3冊あります。



『ピーターサンドさんのねこ』
ルイス・スロボドキン/作 (あすなろ書房)

事件です。毎年夏の間だけねこをかしてくれていたピーターサンドさんが、ねこをかしてくれなくなったのです。ホテル島をバカンスのためにおとずれる人たちは、すっかりこまってしまいました。

『スギナ屋敷のオバケさん オバケ屋敷にお引っ越し』
とみやすようこ 富安陽子/作 (ひさかたチャイルド)

料理研究家のオバケさんはオバケではありません。名前がオバケンイチロウだからオバケさん、と呼ばれています。広いキッチンがほしかったオバケさん、山の中の古い家に引っ越しました。なんと、そこには本物の……!?

★オバケさん特製シフォンケーキのレシピもついてるよ。



『きょうから飛べるよ』 小手鞠るい/作 (岩崎書店)

新学期を楽しみにしていたのに、入院することになった「さくら」。なかなか退院できず元気をなくしていたある日、1通の手紙が届きます。書かれていることが気になるさくらは、病室の外へ出てみることにしました。



『ざざ虫～伊那谷の虫を食べる文化～』
まつざわようじ 松沢陽士/写真・文 (フレーベル館)

長野県の伊那谷では「ざざ虫」と呼ばれる、トビケラやヘビトンボなどの幼虫を食べる文化があります。虫を食べるなんて信じられないかもしれないけれど、これは伊那谷で昔から受けつがれてきた大切な文化なのです。

